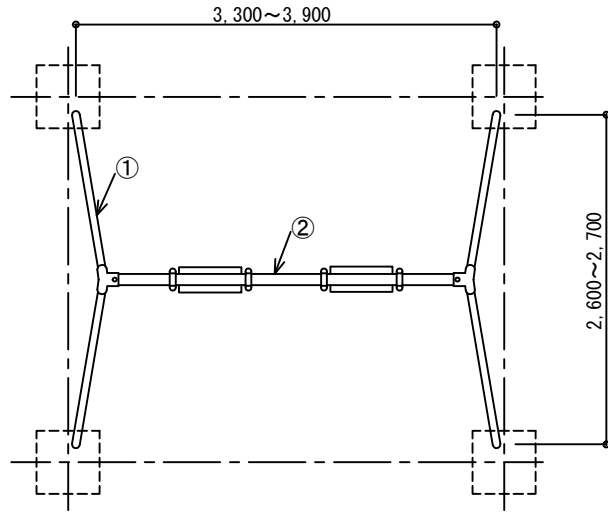


3-9 遊 戲 施 設 整 備 工

平面図

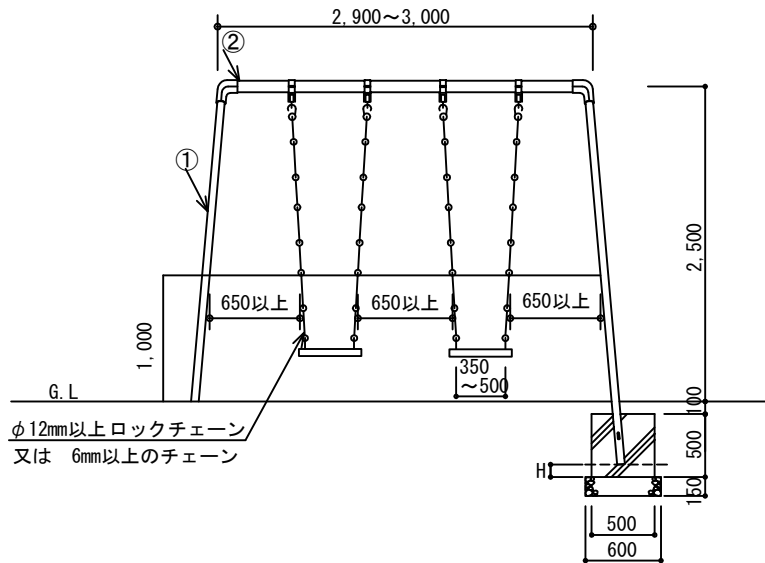


①	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444
②	SGP	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3452
	STK	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444

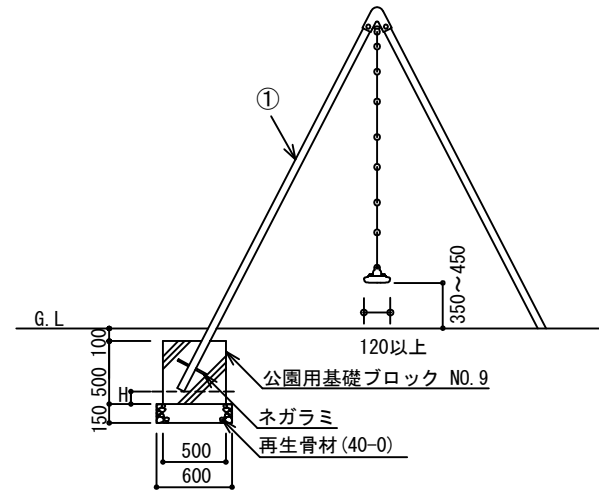
H=50~100 (参考値)

※ H : 支柱下端部の設置高

正面図



側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- ブランコ本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPPA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- 着座部の表面は、ソフトな素材で覆われているものとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (0-4) とする。二度打ち又はコンクリート (0-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

大型2人用ブランコ

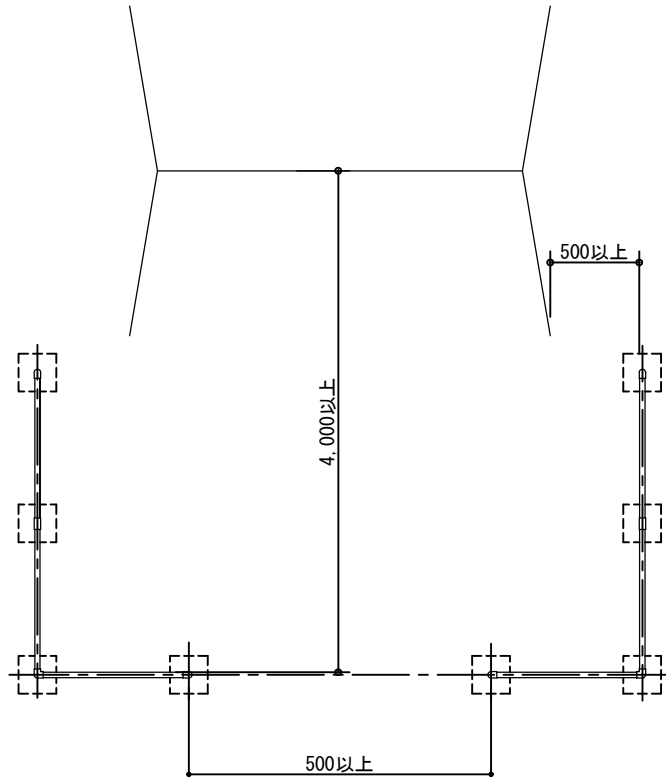
縮尺

1/60

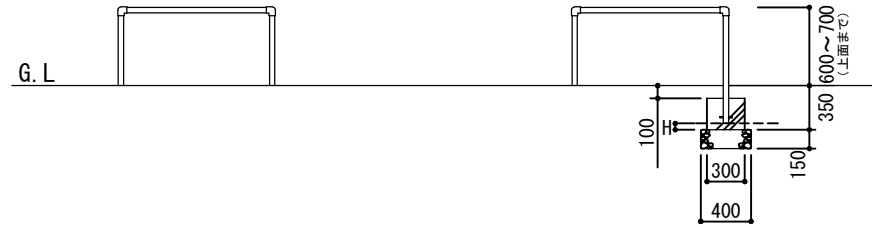
番号

3-9-1-1

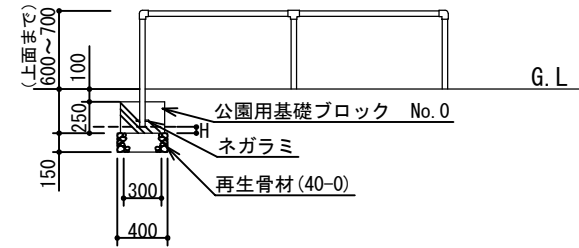
平面図



正面図



側面図



H=20~50 (参考値)
※ H: 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 境界柵は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」による安全領域内に設置しないこと。
- 支柱および梁は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

大型2人用ブランコ境界柵

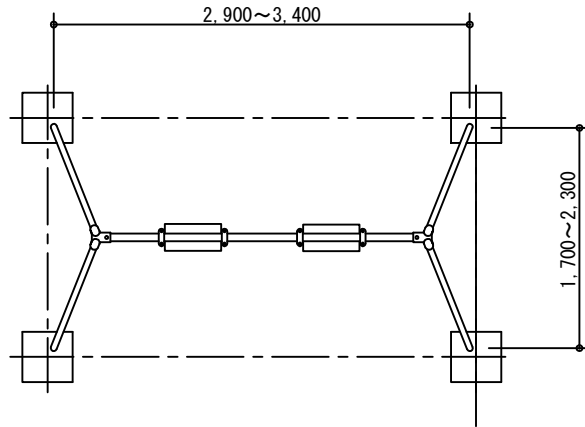
縮
尺

1/60

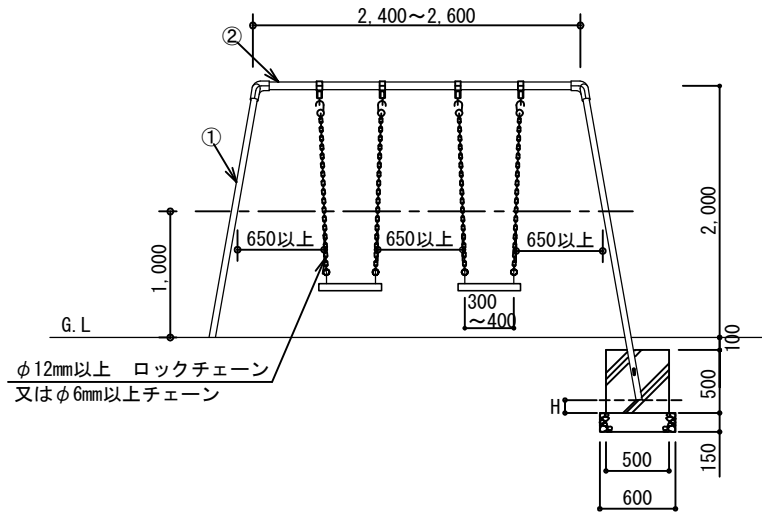
番
号

3-9-1-2

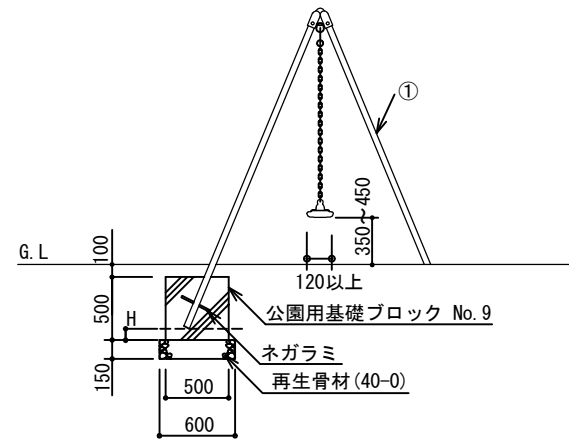
平面図



正面図



側面図



①	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 48.6mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444
②	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444
	STK	外径 76.3mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444

H=50~200 (参考値)
※ H : 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- プランコ本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPPA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- 着座部の表面は、ソフトな素材で覆われているものとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (0-4) とする。二度打ち又はコンクリート (0-4) と同程度の強度のコンクリートスパーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

小型2人用ブランコ

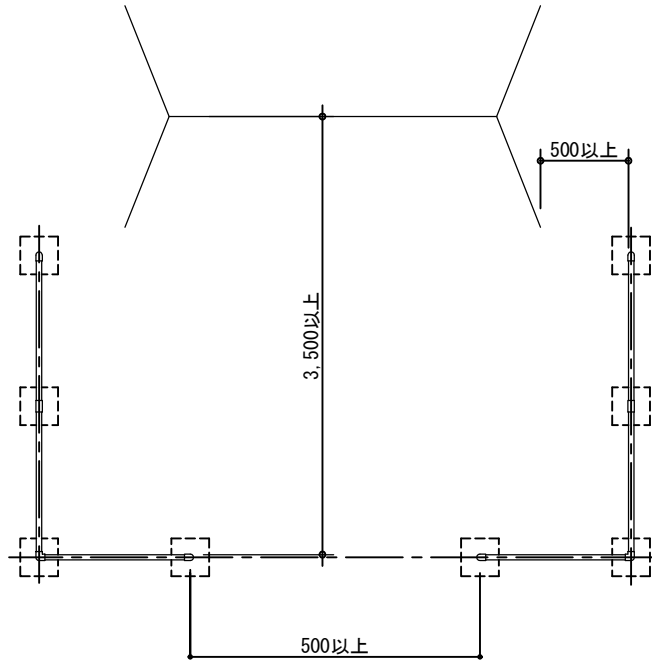
縮尺

1/60

番号

3-9-2-1

平面図



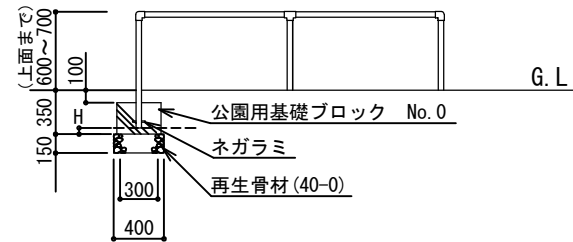
H=20~50 (参考値)

※ H: 支柱下端部の設置高

正面図



側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 境界柵は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」による安全領域内に設置しないこと。
- 支柱および梁は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスパーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

小型2人用ブランコ境界柵

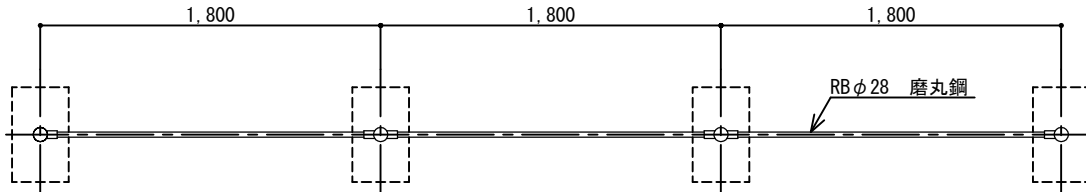
縮尺

1/60

番号

3-9-2-2

平面図

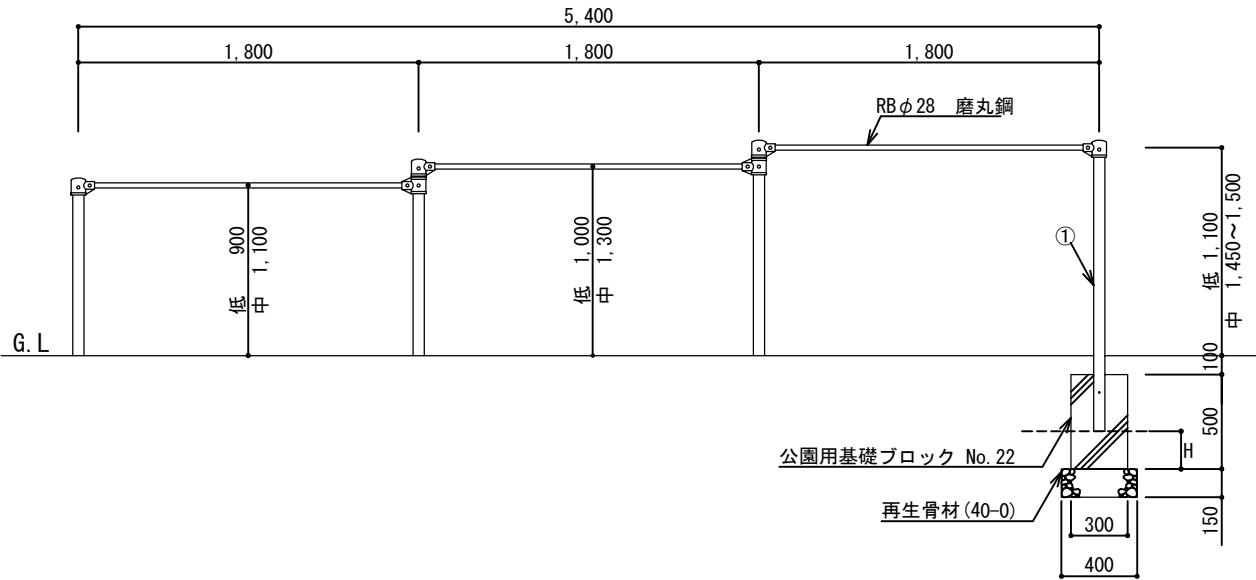


①	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444

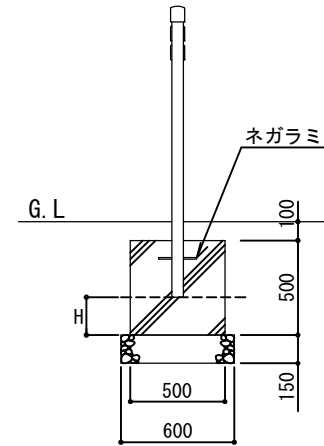
H=50~200 (参考値)

※ H: 支柱下端部の設置高

正面図



側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 鉄棒本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- Rφ28磨丸鋼は、ジンクロメートメッキ仕上とする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート(C-4)とする。二度打ち又はコンクリート(C-4)と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

三間低・中铁棒

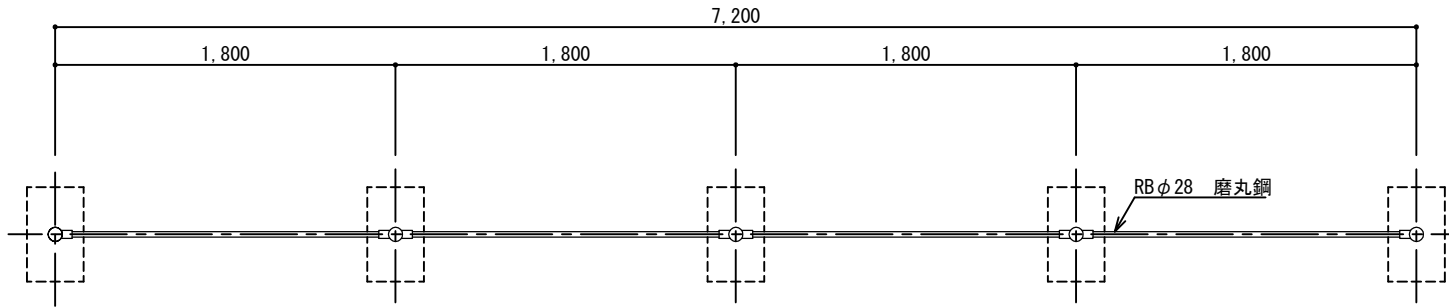
縮尺

1/40

番号

3-9-3

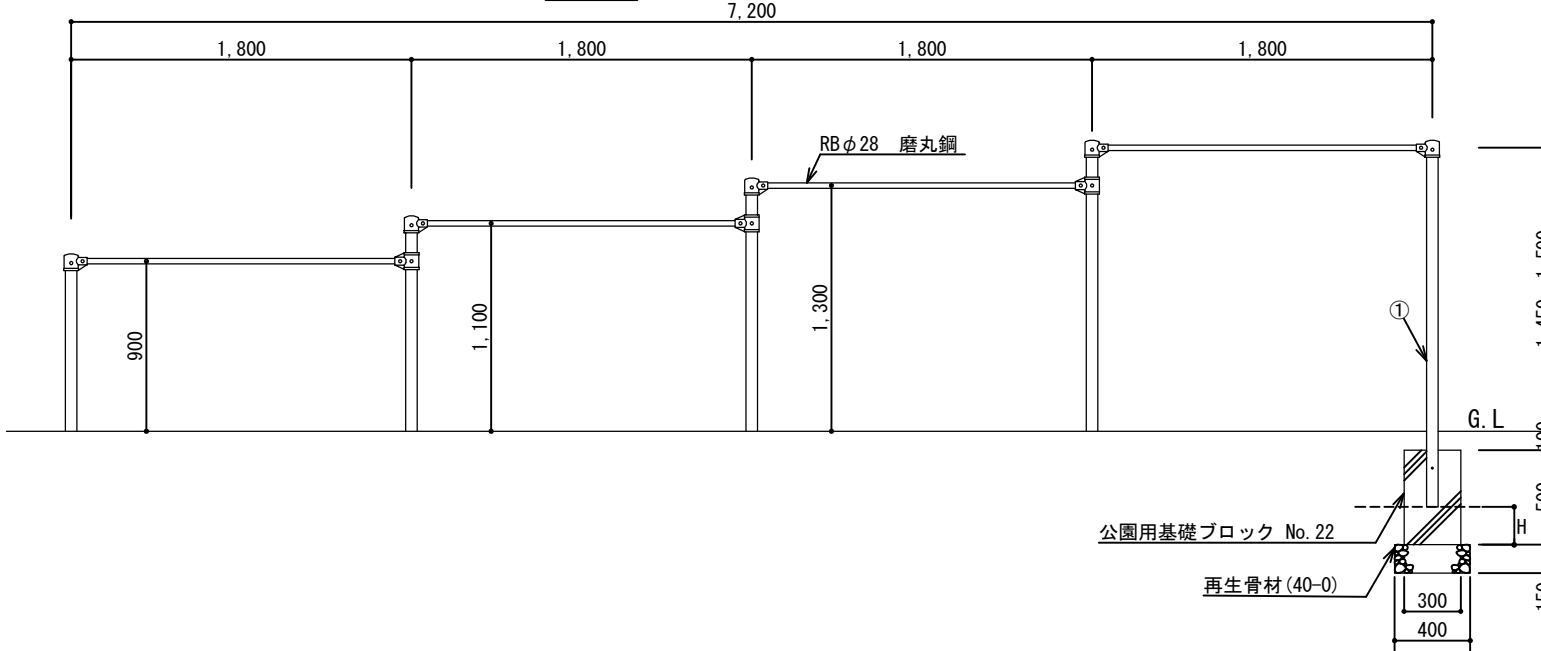
平面図



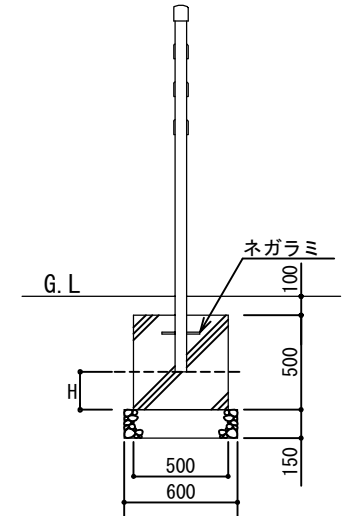
①	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444

H=50~200 (参考値)
※ H: 支柱下端部の設置高

正面図



側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 鉄棒本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- RBφ28磨丸鋼は、ジンクロメートメッキ仕上とする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート(C-4)とする。二度打ち又はコンクリート(C-4)と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)
- 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

四間鉄棒

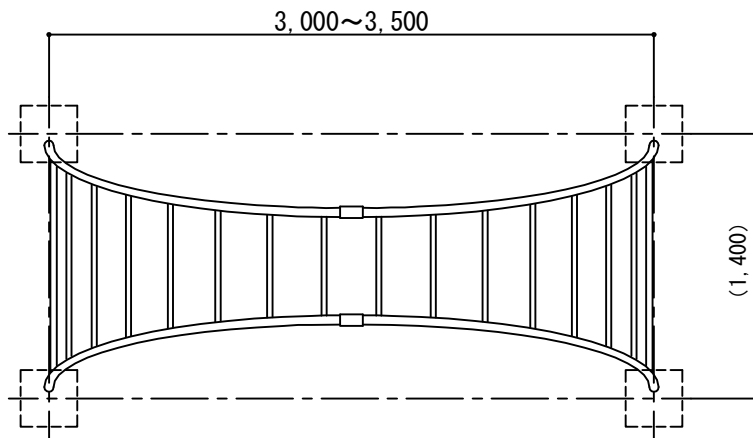
縮尺

1/40

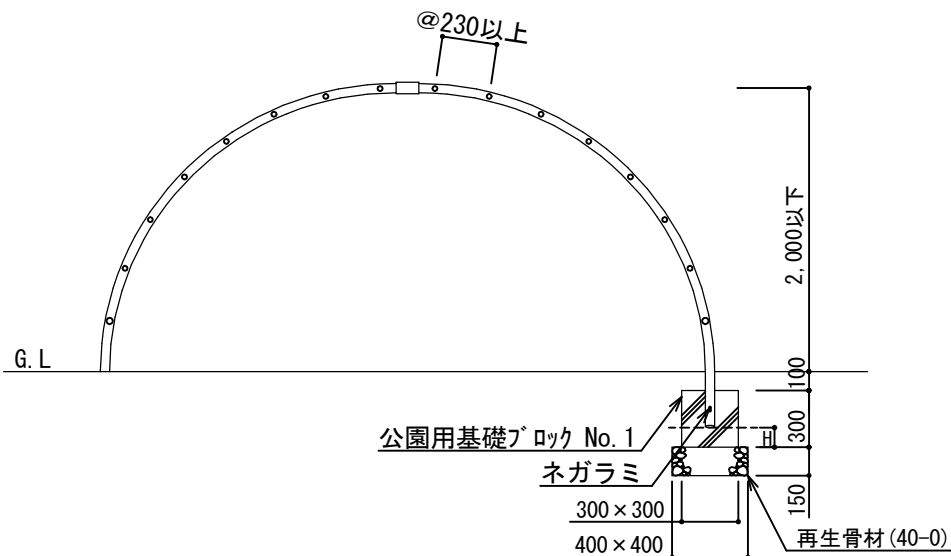
番号

3-9-4

平面図



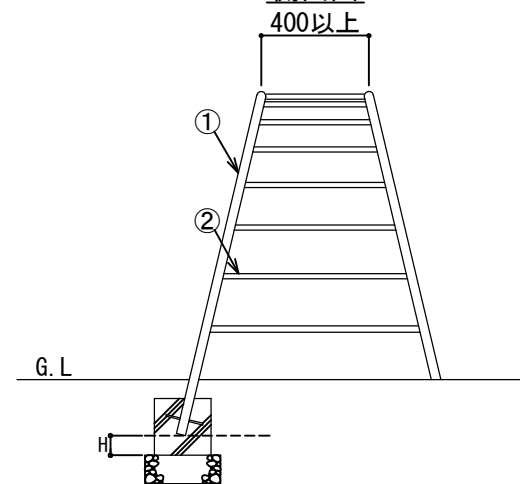
正面図



①	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	SGP	外径 42.7mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 42.7mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3444
②	SGP	外径 27.2mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 27.2mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3444
	SGP	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3452
	STK	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3444

H=50~100 (参考値)
※ H: 支柱下端部の設置高

側面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 太鼓梯子本体は(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPPA-SP-S-2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート(C-4)とする。二度打ち又はコンクリート(C-4)と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

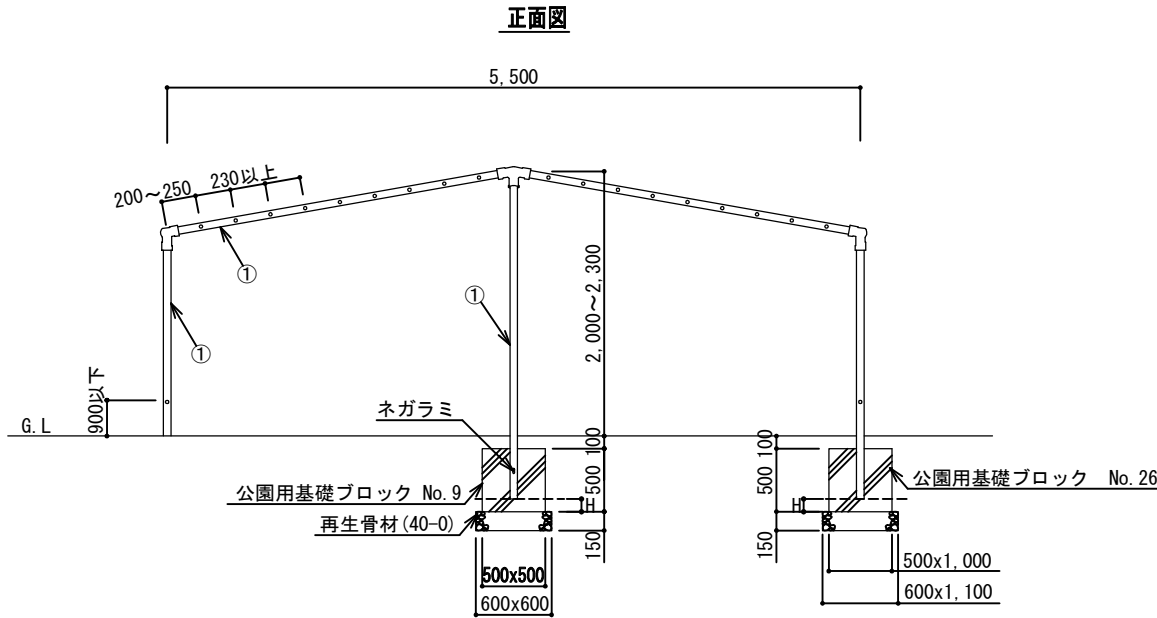
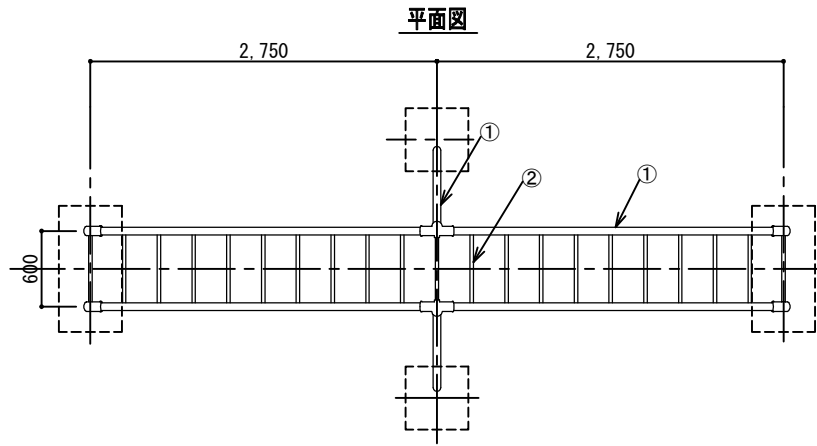
太鼓梯子

縮尺

1/40

番号

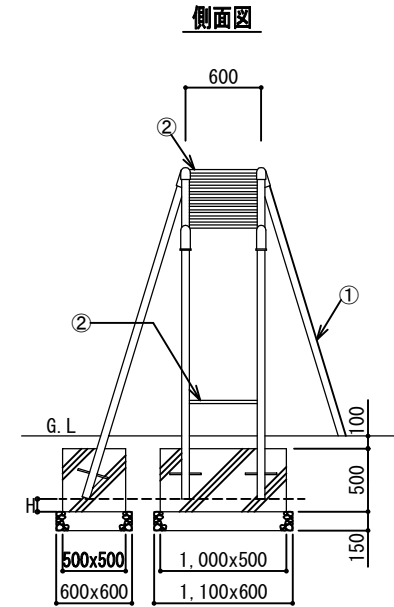
3-9-5



①	SGP	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444
②	SGP	外径 27.2mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 27.2mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3444
	SGP	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3452
	STK	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3444

H=100 (参考値)

※ H : 支柱下端部の設置高



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 山型雲梯本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

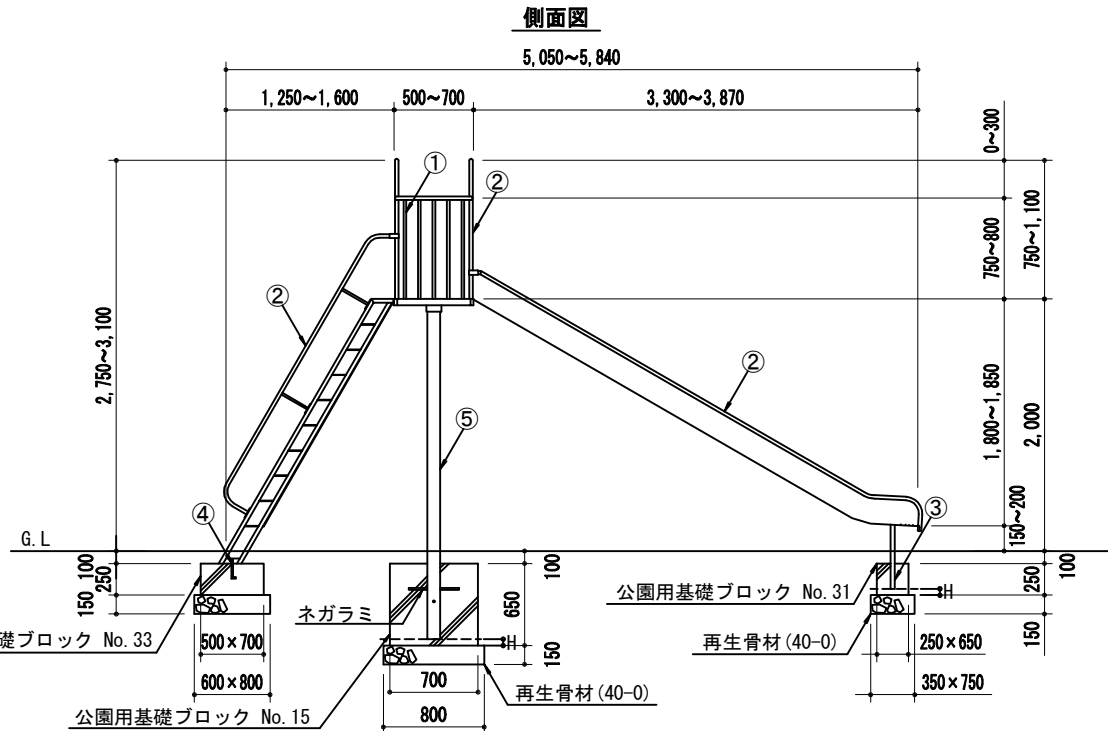
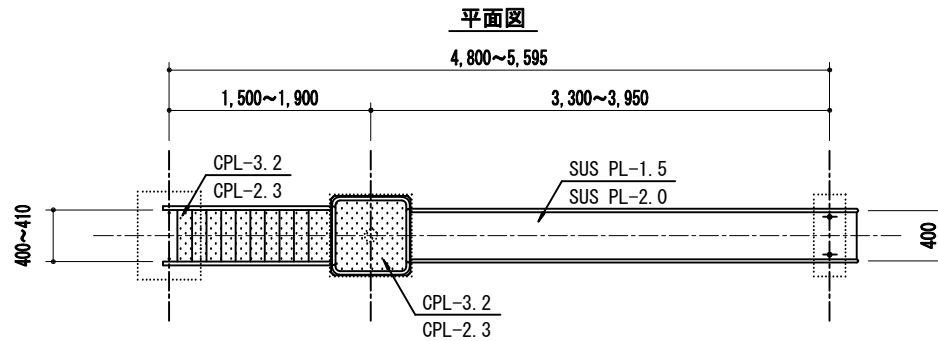
山型雲梯

縮尺

1/60

番号

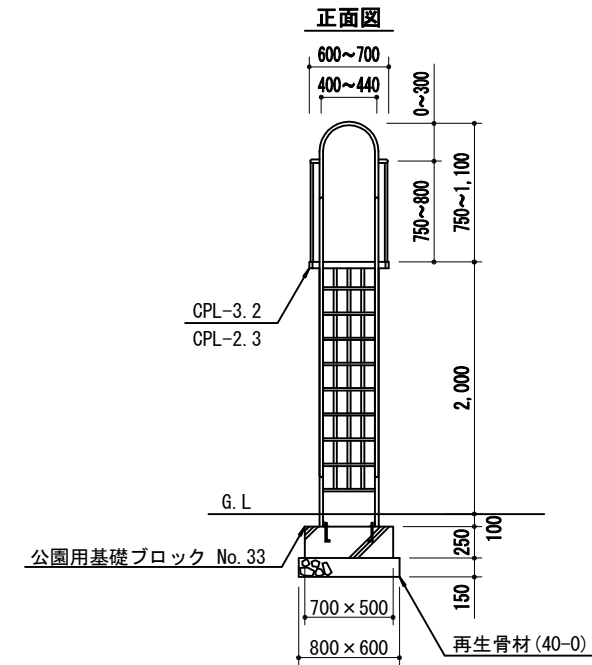
3-9-6



①	SGP	外径 17.3mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3452
	SGP	外径 21.7mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 21.7mm	肉厚 1.9mm	JIS G 3444
RB-16φ				
②	SGP	外径 27.2mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 27.2mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3444
FB-6x50				
④	SGP	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	角P 50x30x2.3			
A. BOLT 2-M12				
⑤	SGP	外径 101.6mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径 114.3mm	肉厚 4.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 101.6mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)

※ H: 支柱下端部の設置高



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

大一流滑台C (ステンレス)

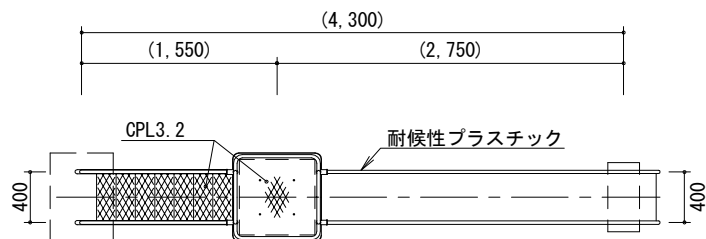
縮
尺

1/60

番
号

3-9-9

平面図

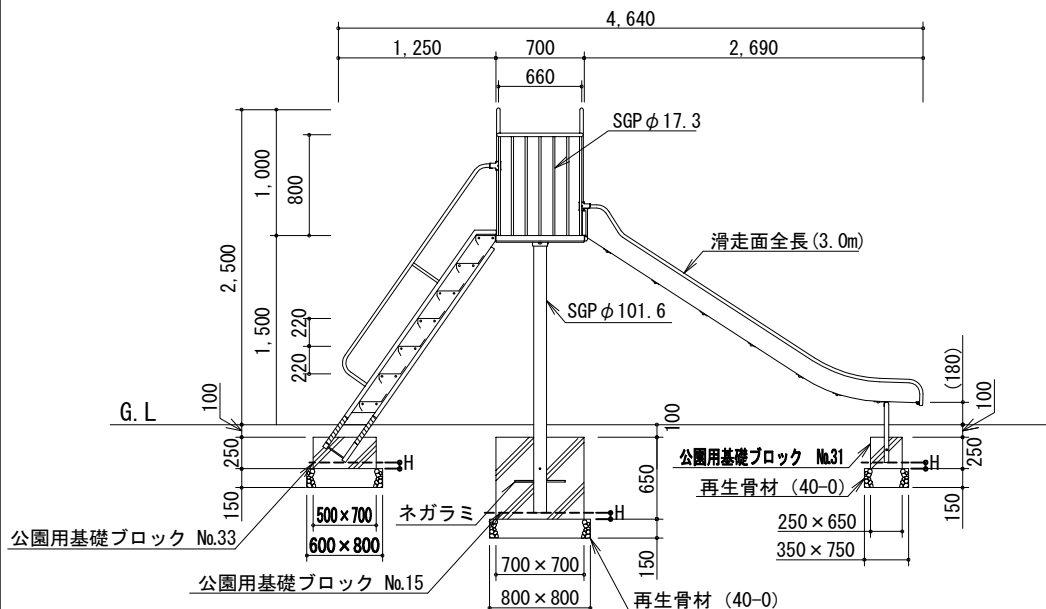


SGP	外径 17.3	肉厚 2.3	JISG3452
STK	外径 27.2	肉厚 2.3	JISG3444
SGP	外径 34.0	肉厚 3.2	JISG3452
SGP	外径101.6	肉厚 4.2	JISG3452
鋳鉄	ダクタイトル		JISG5502

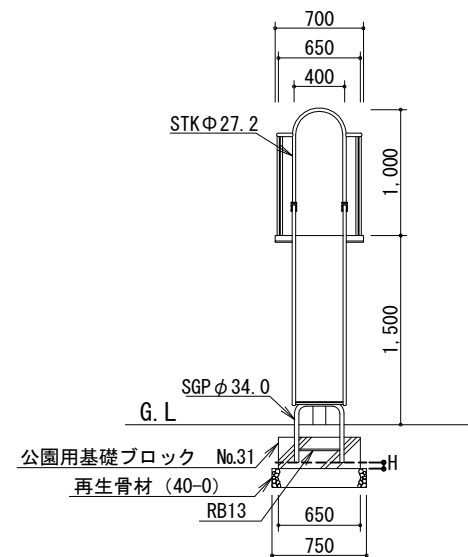
H=50 (参考値)

※ H : 支柱下端部の設置高

側面図



正面図



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

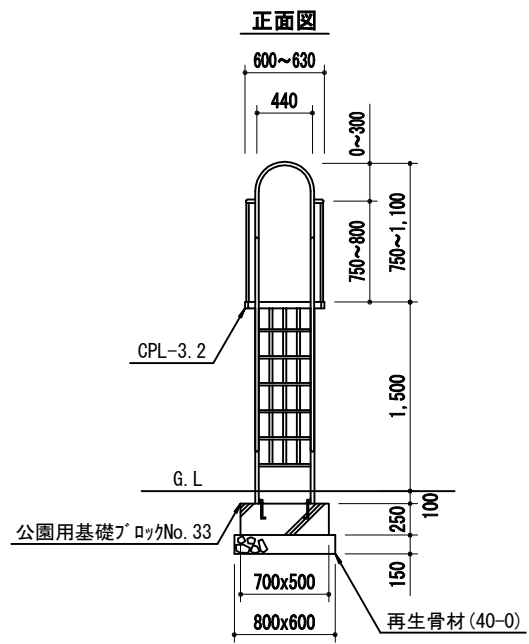
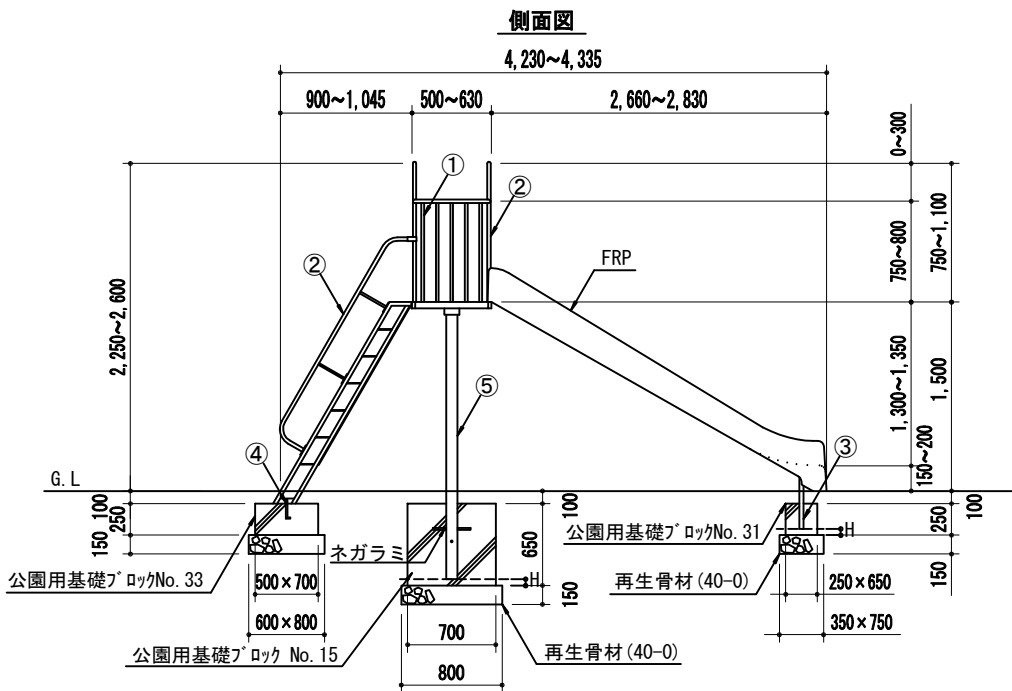
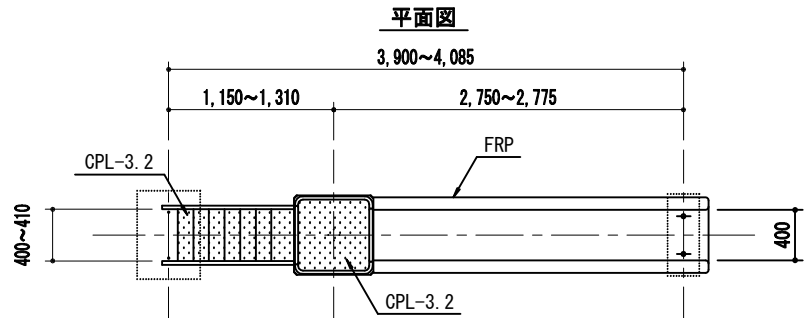
中型滑台A (プラスチック)

縮尺

1/60

番号

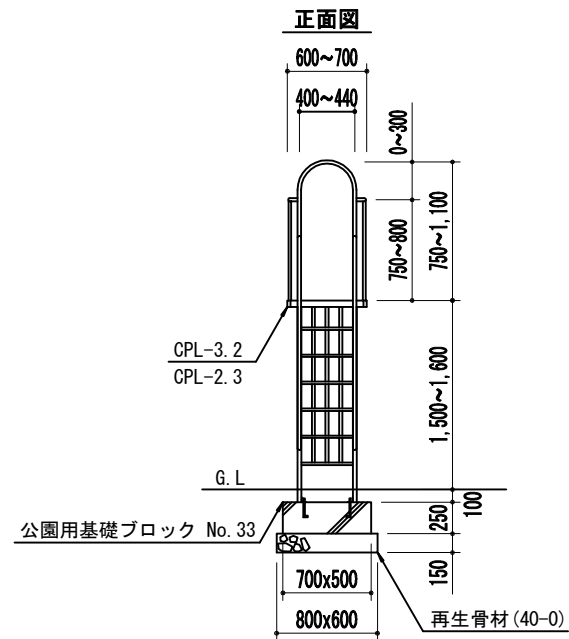
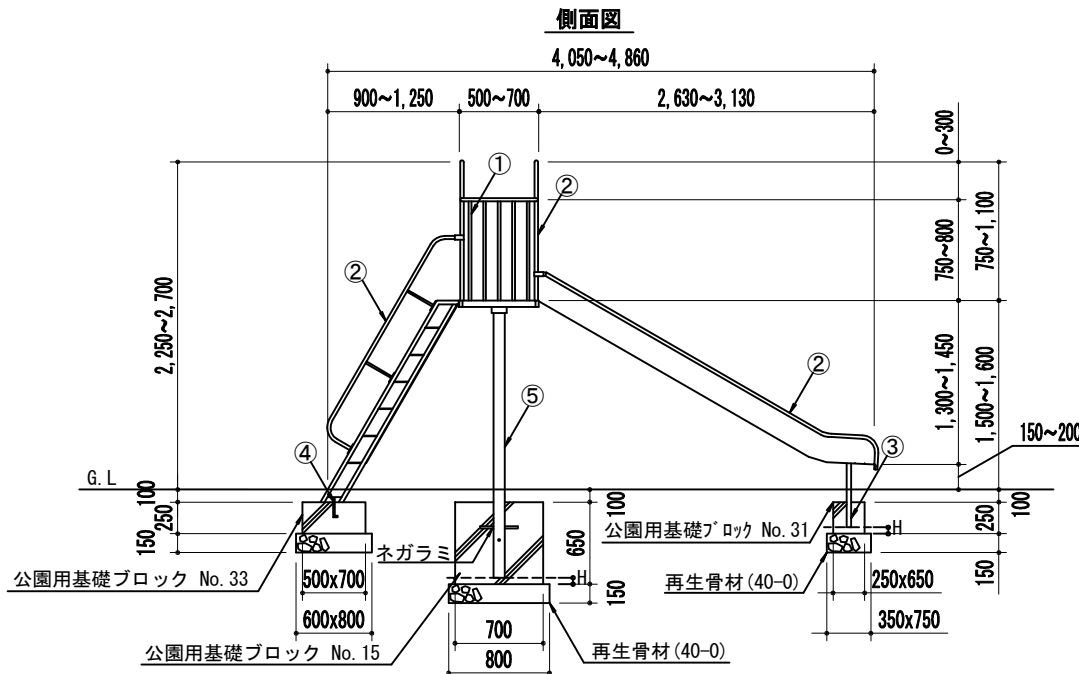
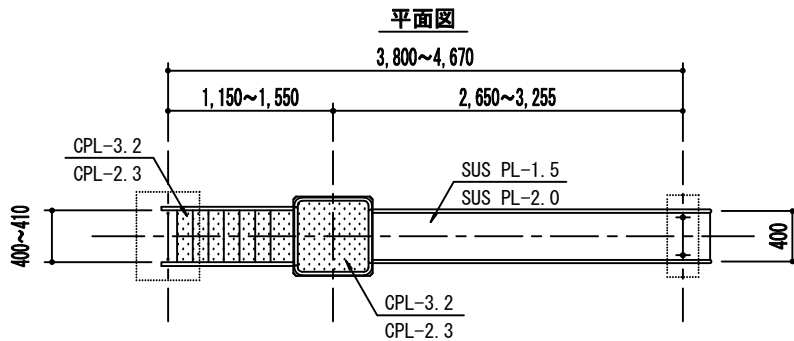
3-9-10



①	STK	外径 21.7mm	肉厚 1.9mm	JIS G 3444
	RB-16φ			
②	SGP	外径 27.2mm	肉厚 2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径 27.2mm	肉厚 2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径 34.0mm	肉厚 3.2mm	JIS G 3444
④	SGP	外径 48.6mm	肉厚 3.5mm	JIS G 3452
	A. BOLT 2-M12			
⑤	SGP	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3452
	STK	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)
 ※ H: 支柱下端部の設置高

<p>札幌市造園工事</p> <p>標準図</p> <p>札幌市建設局みどりの推進部</p>	<p>特 記 仕 様</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。 2. 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。 3. 主要部材は、SGP又はSTKとする。 4. メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。 5. ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。 6. 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。 7. 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。 8. 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。 9. 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。 	<p>図面名称</p> <p style="font-size: 1.2em;">中型滑台B (FRP)</p>	<p>縮 尺</p> <p style="font-size: 1.2em;">1/60</p>	<p>番 号</p> <p style="font-size: 1.2em;">3-9-11</p>
--	----------------------------	---	--	--	--



①	SGP	外径	17.3mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3452
	SGP	外径	21.7mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	21.7mm	肉厚	1.9mm	JIS G 3444
RB-16φ						
②	SGP	外径	27.2mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	27.2mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3444
FB-6x50						
④	SGP	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	角P 50x30x2.3					
A. BOLT 2-M12						
⑤	SGP	外径	89.1mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	101.6mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3452
	STK	外径	89.1mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)

※ H : 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

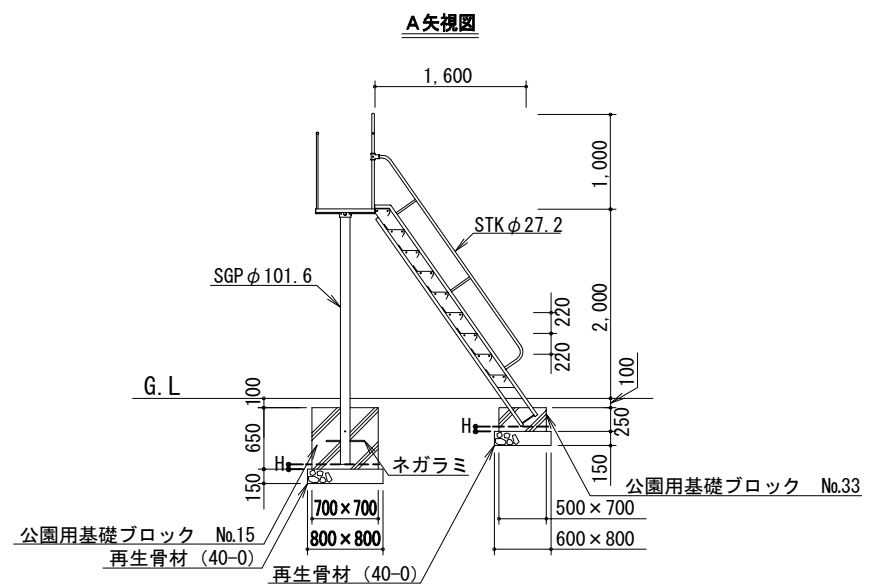
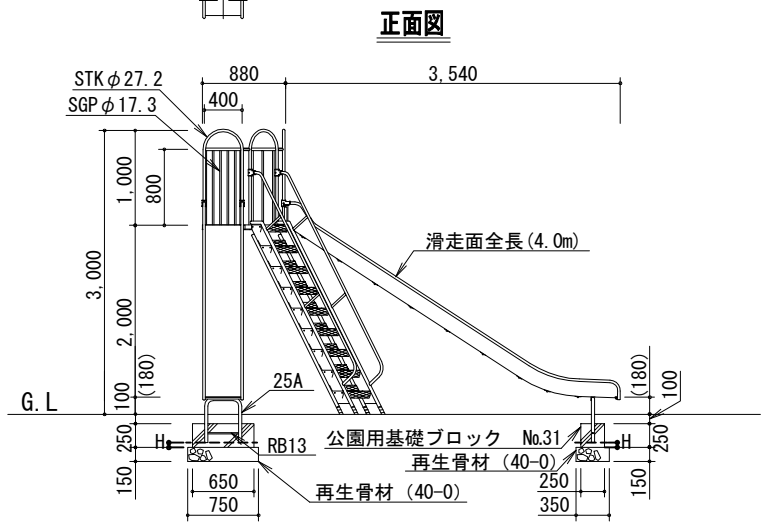
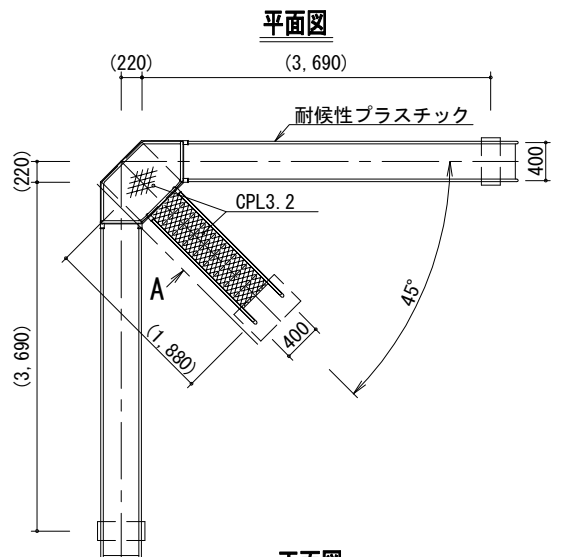
中型滑台C (ステンレス)

縮
尺

1/60

番
号

3-9-12



SGP	外径 17.3	肉厚 2.3	JISG3452
STK	外径 27.2	肉厚 2.3	JISG3444
SGP	外径 34.0	肉厚 3.2	JISG3452
SGP	外径101.6	肉厚 4.2	JISG3452
鋳鉄	ダクタイトル		JISG5502

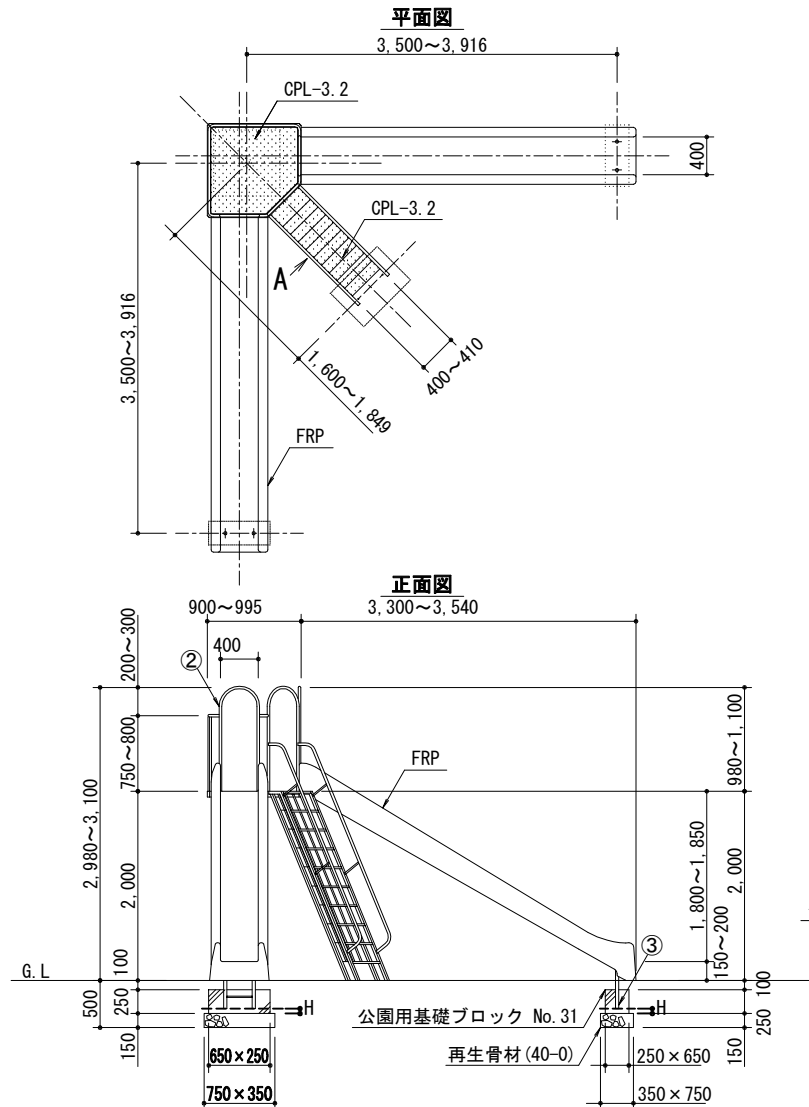
H=50 (参考値)
※ H : 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

- 特記仕様
- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
 - 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
 - 主要部材は、SGP又はSTKとする。
 - メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
 - ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
 - 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
 - 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html)」を参照すること。
 - 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
 - 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

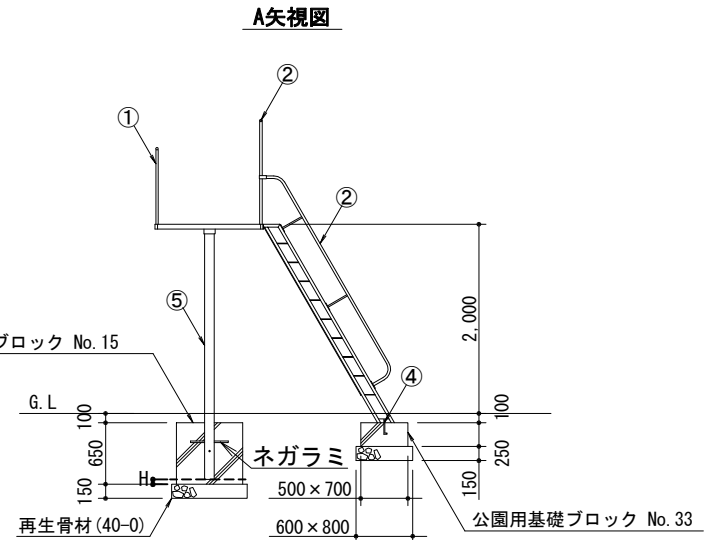
図面名称
放射型滑台 A (プラスチック)

縮尺	1/80	番号	3-9-13
----	------	----	--------



①	STK	外径	21.7mm	肉厚	1.9mm	JIS G 3444
	RB-16φ					
②	SGP	外径	27.2mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	27.2mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3444
④	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	A. BOLT 2-M12					
⑤	SGP	外径	114.3mm	肉厚	4.5mm	JIS G 3452
	STK	外径	101.6mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3444

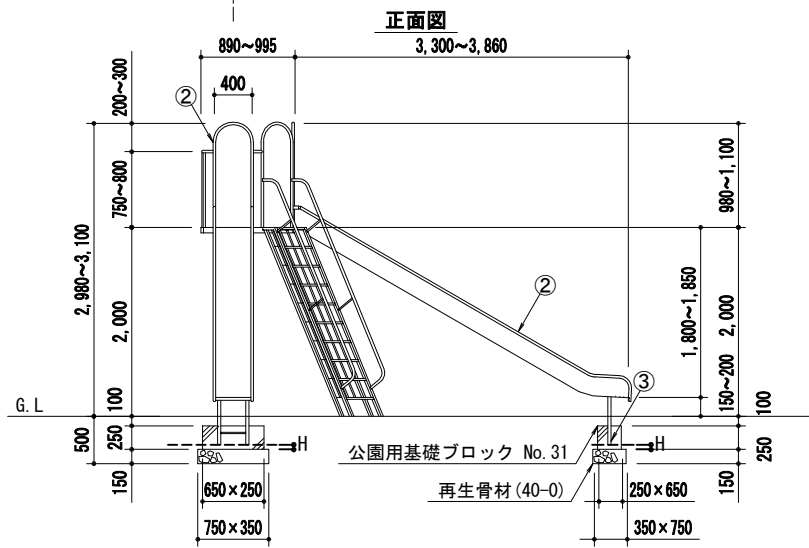
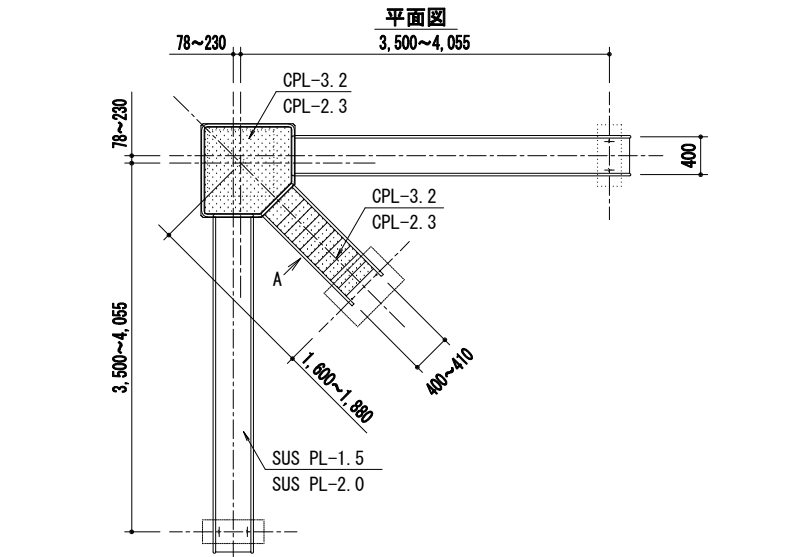
H=50 (参考値)
※ H: 支柱下端部の設置高



札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

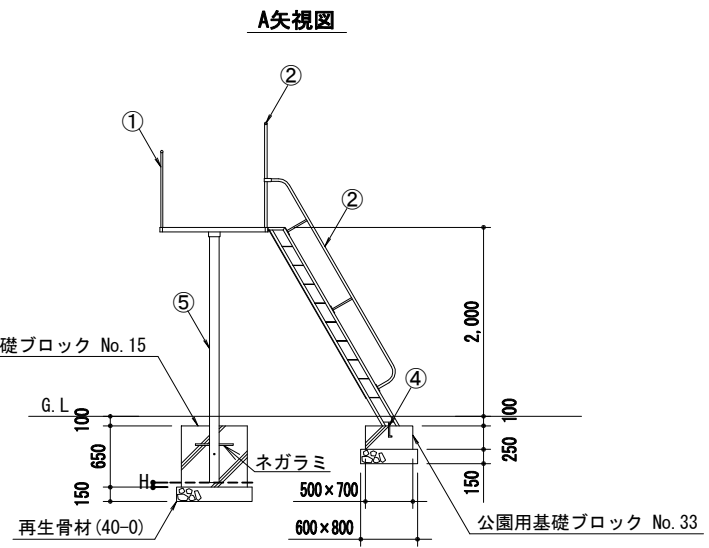
- 特記仕様
- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
 - 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
 - 主要部材は、SGP又はSTKとする。
 - メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
 - ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
 - 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)
 - 打設方法については監督員と協議すること。
 - 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html)」を参照すること。
 - 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
 - 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称		
放射型滑台B (FRP)		
縮尺	1/80	番号
		3-9-14



①	SGP	外径	17.3mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3452
	SGP	外径	21.7mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	21.7mm	肉厚	1.9mm	JIS G 3444
RB-16φ						
②	SGP	外径	27.2mm	肉厚	2.8mm	JIS G 3452
	STK	外径	27.2mm	肉厚	2.3mm	JIS G 3444
③	SGP	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	STK	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3444
FB-6x50						
④	SGP	外径	34.0mm	肉厚	3.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	48.6mm	肉厚	3.5mm	JIS G 3452
	角P 50x30x2.3					
A. BOLT 2-M12						
⑤	SGP	外径	101.6mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3452
	SGP	外径	114.3mm	肉厚	4.5mm	JIS G 3452
	STK	外径	101.6mm	肉厚	4.2mm	JIS G 3444

H=50 (参考値)
※ H: 支柱下端部の設置高



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特
記
仕
様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- 滑り台本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPIFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスペーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

放射型滑台C (ステンレス)

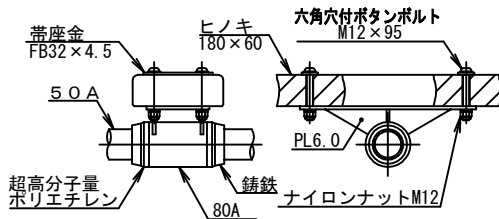
縮
尺

1/80

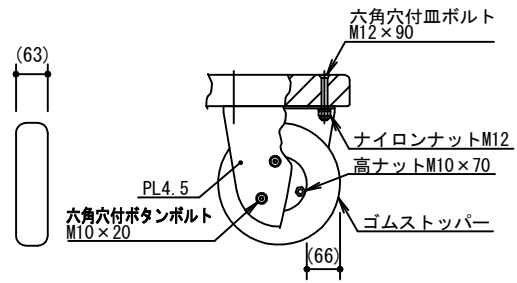
番
号

3-9-15

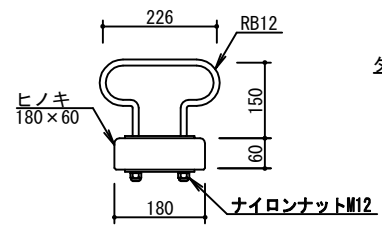
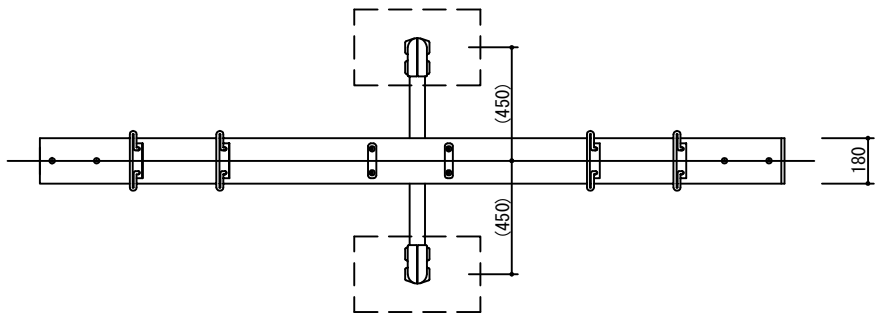
STK50A	外径 60.5mm	肉厚 3.8mm	JIS G 3444
SGP80A	外径 89.1mm	肉厚 4.2mm	JIS G 3452
鑄鉄	ダクタイル		JIS G 5502



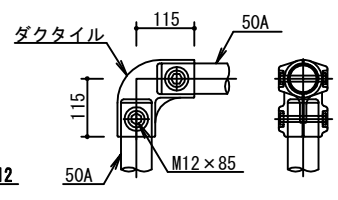
A 詳細図 S=1/15



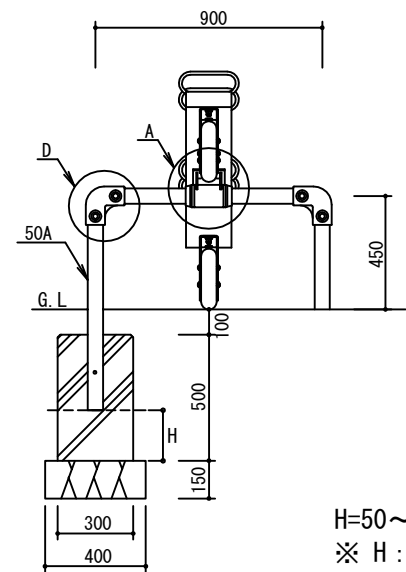
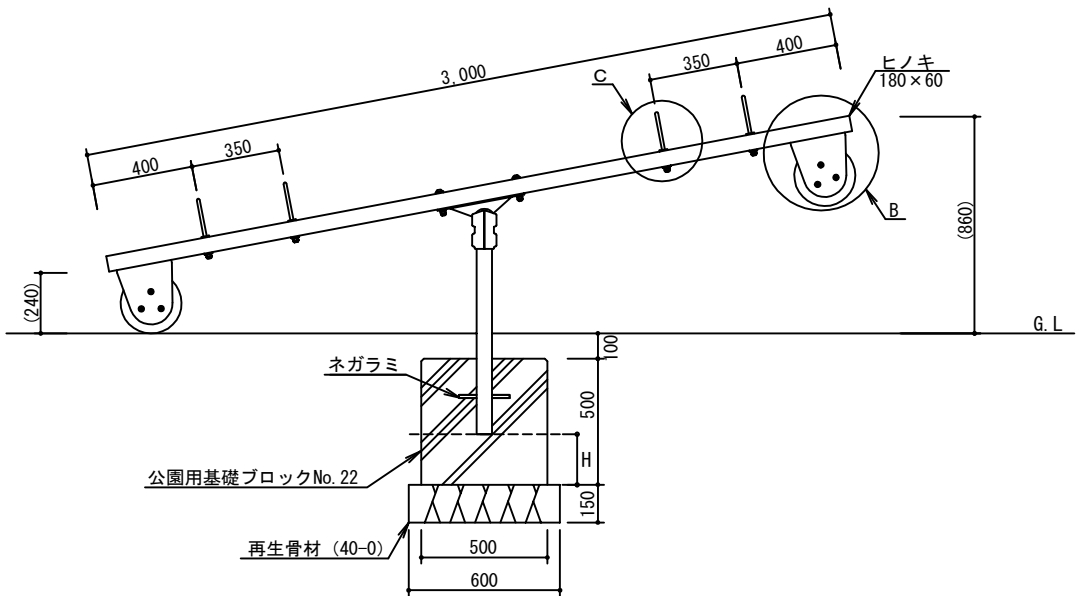
B 詳細図 S=1/15



C 詳細図 S=1/15



D 詳細図 S=1/15



H=50~200 (参考値)
※ H : 支柱下端部の設置高

札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- シーソー本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 主要部材は、SGP又はSTKとする。
- 木材は、木製品特記仕様(1-2-2)による。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート(C-4)とする。二度打ち又はコンクリート(C-4)と同程度の強度のコンクリートスペースー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。)打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryo/zouen/kouji.html)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

図面名称

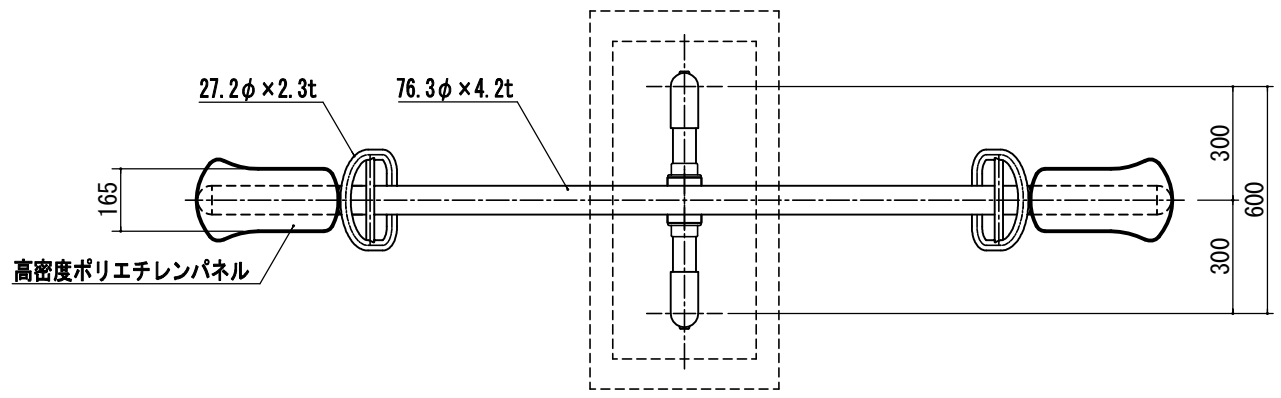
シーソーA

縮尺

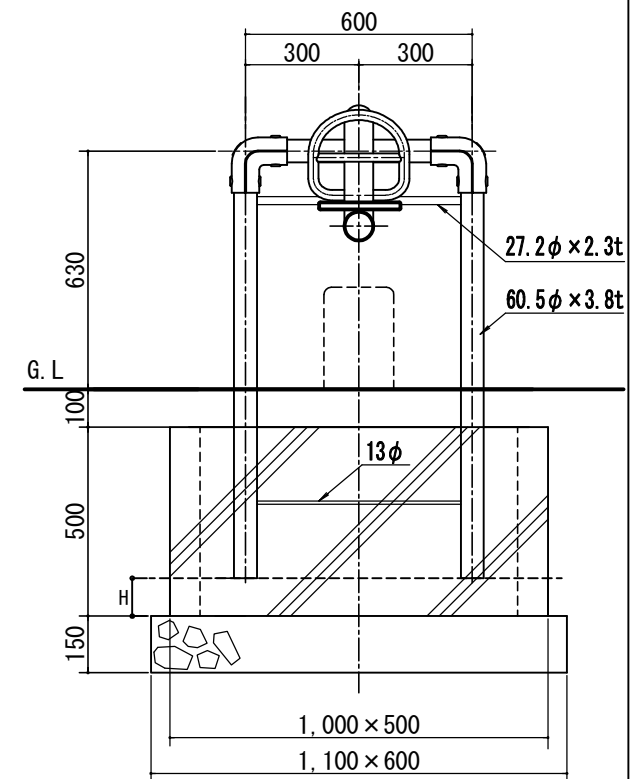
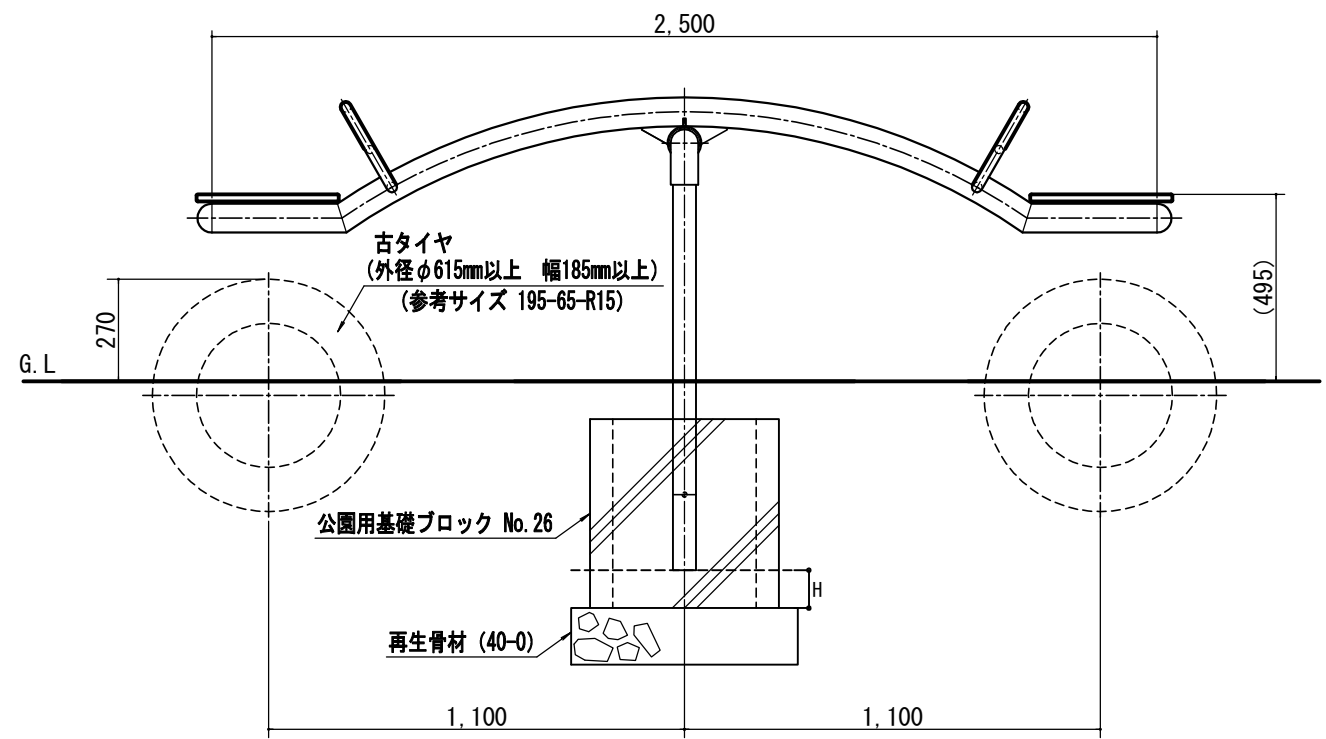
1/30

番号

3-9-16



H=100 (参考値)
 ※ H: 支柱下端部の設置高



札幌市造園工事

標準図

札幌市建設局みどりの推進部

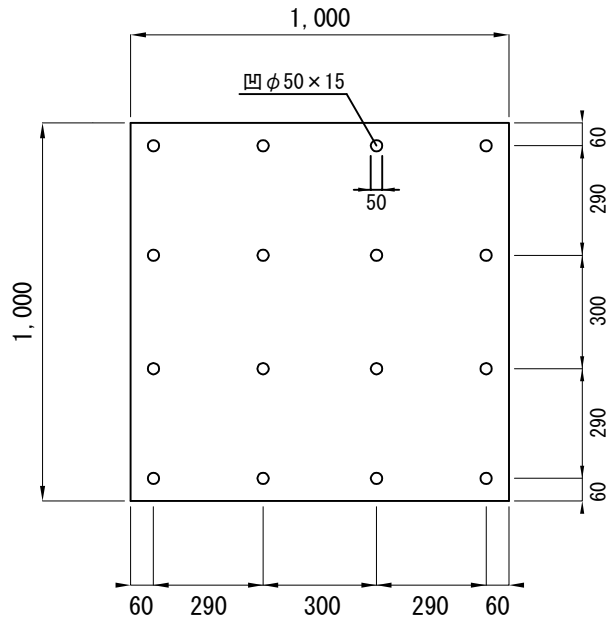
特記仕様

- 製品の細部、確定寸法、鋼材の塗装色等の仕様について、承認図および製品仕様書により発注者の承認を得た上で決定すること。
- シーソー本体は、(社)日本公園施設業協会「遊具の安全に関する基準JPAF-SP-S:2024」に適合した製品とする。
- 使用パイプ類およびボルト・ナット類は、ジंकロメートメッキとする。
- 下塗りはエポキシ樹脂系プライマーを塗装し、上塗りは合成樹脂系塗料を塗装し焼付塗装とする。
- メッキ及び塗装については、「標準図1-2-1」に準ずる。
- ナットは袋ナット、もしくは戻り止めナットを使用する。
- 中詰は、生コンクリート (C-4) とする。二度打ち又はコンクリート (C-4) と同程度の強度のコンクリートスパーサー等でHのラインまで高さを調整すること。二度打ちの場合は、一度目はHのラインまで打設し、強度を確認後に支柱を設置、二度目を打設すること。(Hは支柱下端部の設置高を表す。) 打設方法については監督員と協議すること。
- 国内において製品の保証ができる製造元による、材料・加工・塗装などの仕様を明記した品質証明書を提出すること。品質証明書および製品仕様書の内容・様式については、「みどりのページ 造園工事資料集 (<http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/shiryozouen/kouji.html>)」を参照すること。
- 発注者との協議により、発注者が求める場合は、製品の詳細図面等を提出すること。
- 製造者名・製造年月を記載した「製造表示ラベル」を製品の見やすい位置に表示すること。

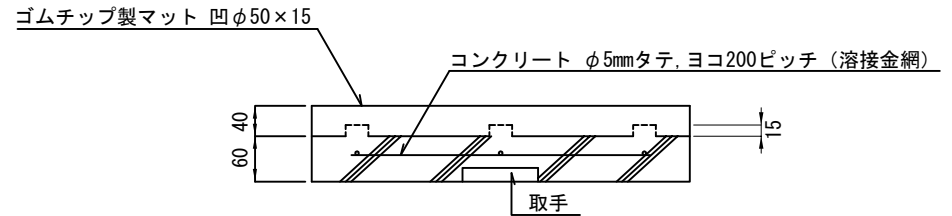
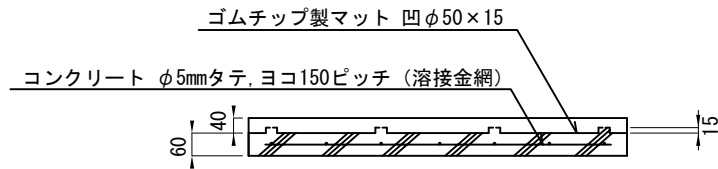
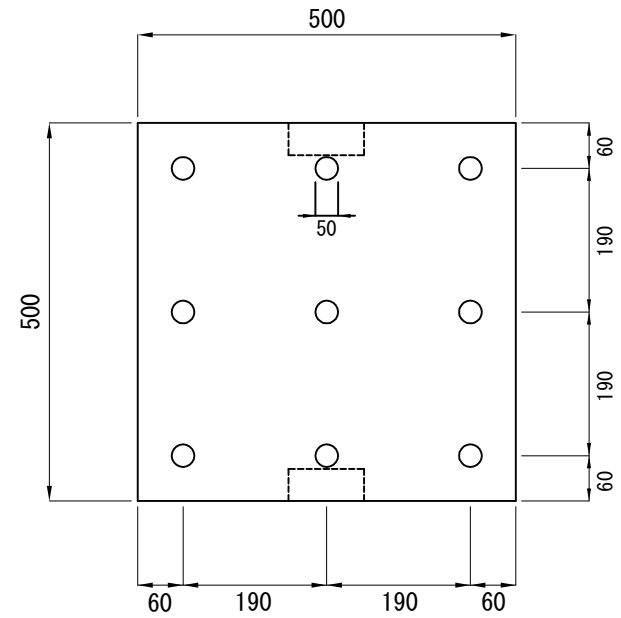
図面名称	
シーソーC	
縮尺	1/20
番号	3-9-17

ゴムチップ製マット詳細図

S=1/20



S=1/10

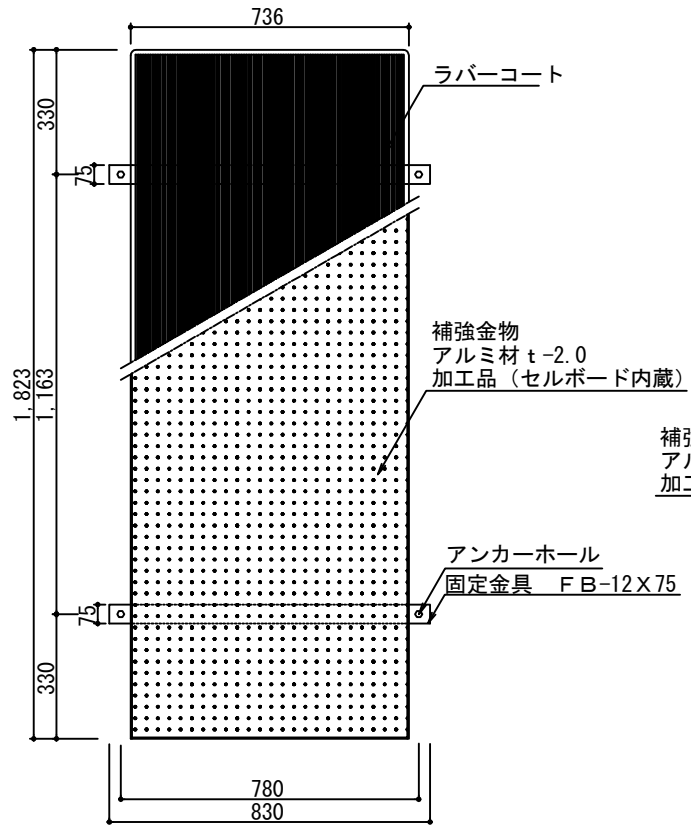


札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

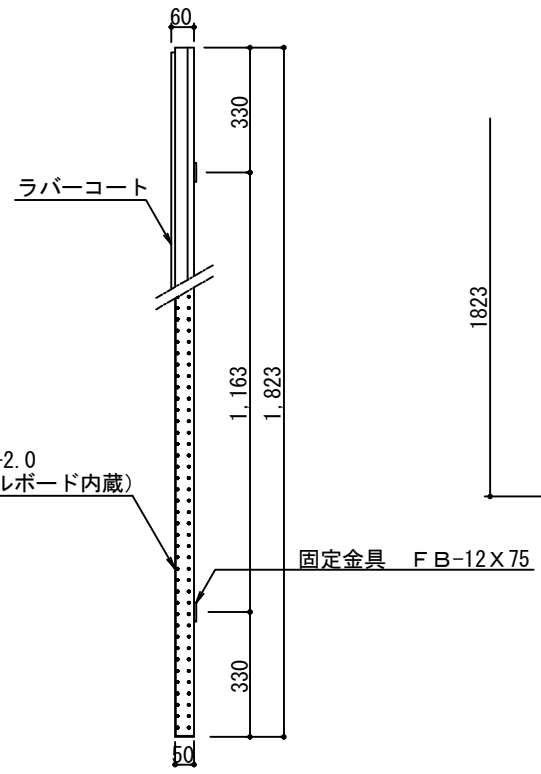
特記仕様

図面名称
ゴムチップ製マット

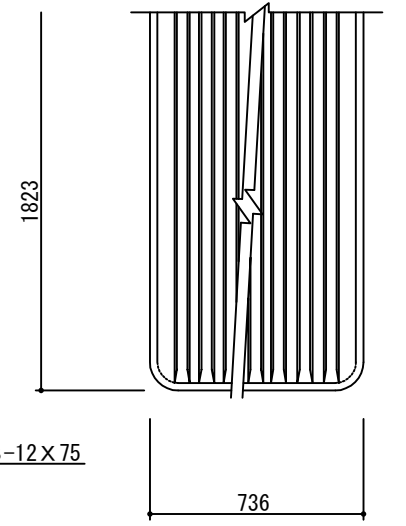
縮尺	図示	番号	3-9-18
----	----	----	--------



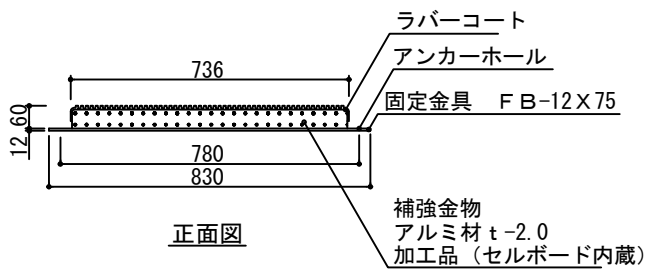
平面図



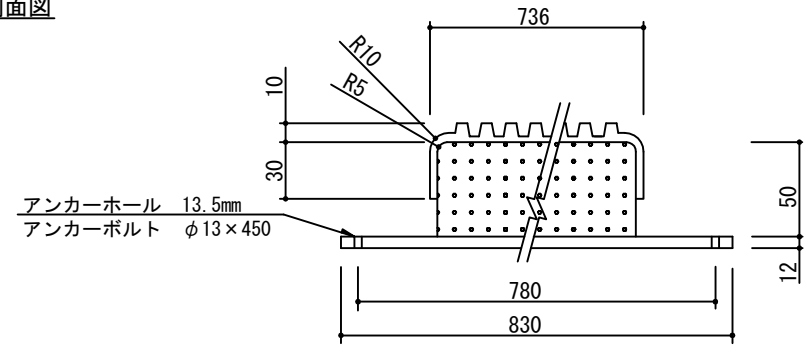
側面図



ラバーコート平面図 S=1/3



正面図



ラバーコート正面図 S=1/3

札幌市造園工事
標準図
札幌市建設局みどりの推進部

特記仕様

図面名称		敷床板	
縮尺	図示	番号	3-9-19